

# 令和2年度都市科学部新入生 オリエンテーション資料

# (1) 配付資料の確認

- ▶ 都市科学部ウェブサイトの「令和2年度都市科学部オリエンテーション資料」ページから各自ダウンロードして閲覧してください。

「令和2年度都市科学部オリエンテーション資料」ページ

<https://www.cus.ynu.ac.jp/education/orientation/index.html>



## (2) 履修に関する資料

大学のカリキュラムは、

**全学教育科目**と**学部教育科目**の2つから構成されます。

### ●全学教育科目

語学や人文社会科学、自然科学の幅広い分野について、すべての学部の学生が共に学ぶ科目群

### ●学部教育科目

所属する学部・学科の専門分野に関する科目群

## (2) 履修に関する資料

### ▶ 「全学教育科目履修案内」

毎年配布します。全学教育科目の履修方法について説明したものです。

### ▶ 「全学教育科目時間割表」

毎年配布します。全学教育科目の履修方法について説明したものです。

※ 履修案内の内容を訂正・変更する場合は、掲示でお知らせします。

## (2) 履修に関する資料

### ▶ 「都市科学部履修案内」

授業科目や履修方法，そして卒業に必要な単位数の基準などについて説明したものです。入学年度によってカリキュラムが異なりますので、入学時に配布されたものを4年間大切に使用してください。

### ▶ 「都市科学部時間割表」

毎年配布します。冊子は配布しないので、令和2年度都市科学部オリエンテーション資料ページからダウンロードしてください。

# (3) 卒業に必要な単位を確認しよう

## I. 授業科目履修に関する事項

### 1. 履修基準 (卒業要件)

都市社会共生学科を卒業するためには、次の諸条件を満たさなくてはなりません。

- (1) 下記の履修基準表に示す授業科目区分ごとに定められた単位数以上を修得し、合計で 124 単位以上を修得すること。
- (2) 卒業に必要な単位数の GPA が 2.0 以上であること。
- (3) 卒業研究の成果を提出し、審査に合格すること。

履修基準表 (都市社会共生学科で修得すべき単位数一覧)

授業科目区分		修得すべき単位数		30 以上	高度全学教育 指定科目から 4以上(※4)	
全学 教育 科目	基礎科目	人文社会系科目	4以上(※4)			12以上
		自然科学系科目	4以上(※4)			
	グローバル教育科目	選択(※4)				
	イノベーション教育科目	選択(※4)				
	健康スポーツ科目	0~2(※5)				
外国語科目	英語科目	6以上	12以上			
	初修外国語科目	4以上				
学部 教育 科目 (※1)	学部共通科目 (基幹知科目)	都市科学の基礎	4	14以上	94 以上	
		グローバル・ローカル関連	(2科目以上)			
		リスク共生関連	(2科目以上)			
		イノベーション関連	(2科目以上)			
	人文社会科学基礎演習	1	18以上			
	専門基礎科目	5				
	スタジオ科目	24				
	卒業研究関連科目	8				
	コモンズ科目	ベーシック科目		8(※2)		
		アドバンス科目		16(※3)		
演習科目 (ローカル/グローバル科目)	14以上	18以上				
関連科目・インターンシップ科目・その他の科目	0~4					
				124 以上		

都市科学部履修案内で  
所属する学科の  
**履修基準 (卒業要件)**  
を確認しましょう

※1 学部教育科目のうち2単位以上は、学科が指定する英語を使用または英語のテキストを中心的に用いる英語関連科目を履修すること。

※2 「社会と共生の学び (社会学領域)」科目群から4単位以上を履修すること。

※3 「社会と共生の学び (社会学領域)」科目群から8単位以上を履修すること。

※4 高度全学教育指定科目として3年次以降に本学科が指定した基礎科目、グローバル教育科目及びイノベーション教育科目の中から4単位以上を履修すること。

※5 2単位まで卒業に必要な単位として参入可能

※6 外国人留学生においては、日本語科目を外国語科目に代替できる。

## (4) 全学教育科目履修上の注意

### 卒業に必要な外国語の単位

	英語科目 必修単位数	初修外国語 必修単位数	選択単位数の履修方法 (いずれかを選択)	外国語科目 合計単位数
都市社会共生学科	実習 4 単位 演習 2 単位	実習 4 単位	英語演習 2 単位	12 単位
			初修外国語演習 2 単位	
			初修外国語実習 2 単位	
建築学科 都市基盤学科 環境リスク共生学科	実習 4 単位 演習 2 単位	実習 2 単位	英語演習 2 単位 初修外国語実習 2 単位 (別言語でも可)	10 単位

英語演習は2年次以降に履修します。  
英語演習を2単位取得するためには、  
最低でも TOEFL-ITP450 点以上のスコア取得が必要です。  
つまり、TOEFL-ITP450 点以上のスコアを取得できないと卒業できません！

入学時のプレイスメントテストと秋セメスター末の英語統一テストとして、  
合計2回TOEFL-ITPを受験します。  
加えて希望すれば、TOEFL-ITP 学内実施（学内・不定期）も受験できます。

## (4) 全学教育科目履修上の注意

### 卒業に必要な外国語の単位

	英語科目 必修単位数	初修外国語 必修単位数	選択単位数の履修方法 (いずれかを選択)	外国語科目 合計単位数
都市社会共生学科	実習 4 単位 演習 2 単位	実習 4 単位	英語演習 2 単位	12 単位
			初修外国語演習 2 単位	
			初修外国語実習 2 単位	
建築学科 都市基盤学科 環境リスク共生学科	実習 4 単位 演習 2 単位	実習 2 単位	英語演習 2 単位 初修外国語実習 2 単位 (別言語でも可)	10 単位

初修外国語は同じ言語で実習 1 と実習 2 をセットで履修する必要があります。  
中国語実習 1 と中国語実習 2 →卒業に必要な外国語 2 単位 となりますが、  
中国語実習 1 のみ取得し、中国語実習 2 を取得しなかったり、  
中国語実習 1 とドイツ語実習 2 等の組み合わせなどは卒業に必要な  
外国語の単位としては認められません。  
個別成績表の集計ではセットでの単位数ではなく、個別の単位数となり、  
間違いやすいのでくれぐれも気をつけてください！



## (4) 全学教育科目履修上の注意

### 卒業に必要な外国語の単位

	英語科目 必修単位数	初修外国語 必修単位数	選択単位数の履修方法 (いずれかを選択)	外国語科目 合計単位数
都市社会共生学科	実習 4 単位 演習 2 単位	実習 4 単位	英語演習 2 単位	12 単位
			初修外国語演習 2 単位	
			初修外国語実習 2 単位	
建築学科 都市基盤学科 環境リスク共生学科	実習 4 単位 演習 2 単位	実習 2 単位	英語演習 2 単位 初修外国語実習 2 単位 (別言語でも可)	10 単位

外国語科目の選択単位数 (2 単位) は、  
英語科目と初修外国語科目のいずれかから履修するほか、  
下記の科目から 2 単位までを読み替えることができます。  
読替を行う場合は、単位取得後に都市科学部学務係へ申し出てください。

## (4) 全学教育科目履修上の注意

### 高年次履修システム（高度全学教育指定科目制度）とは？

- ▶ 高年次履修システム（高度全学教育指定科目制度）とは、ダイバーシティの視野を広げ、全学部を横断した科目開講により学問の多様性を幅広く修得する制度です。
- ▶ 都市科学部が指定する授業科目を3-4年次において履修します。
- ▶ 都市科学部では全学科で4単位以上の履修が必要です。
- ▶ 指定科目の一覧は都市科学部履修案内のp.10を参照してください。
- ▶ 1-2年次において履修した場合は、高度全学教育指定科目としては扱われませんので注意してください。

## (5) 学部共通科目（基幹知科目）

都市科学部の学生全員が履修する科目です。

学部 教育 科目 (※1)	学部共通科目 (基幹知科目)	都市科学の基礎	4	14 以上
		グローバル・ローカル関連	(2 科目以上)	
		リスク共生関連	(2 科目以上)	
		イノベーション関連	(2 科目以上)	
	人文社会科学基礎演習	1	94 以上	
	専門基礎科目	5		
	スタジオ科目	24		
	卒業研究関連科目	8		
	コモンズ科目	ベーシック科目		8 (※2)
		アドバンス科目		16 (※3)
演習科目（ローカル/グローバル科目）	14 以上	18 以上		
関連科目・インターンシップ科目・その他の科目	0~4			

## (5) 学部共通科目 (基幹知科目)

- ▶ 都市科学部は各専門分野の学びとともに、大都市をフィールドとして都市科学の基本的な素養である

**「グローバルとローカルのつながり (グローバル・ローカル) 」**

**「リスク共生の考え方 (リスク共生) 」**

**「3層のイノベーション (イノベーション) 」**

について学び、また、都市を科学的、客観的に扱うための基本的な知識や技術、コミュニケーション力、問題解決能力などの実践力を養成する科目群です。

**都市科学部履修案内の9ページに科目の一覧があります。**

文理融合学部の利点をいかして、積極的に他分野の科目を履修してください。

## (6) 時間割の組み方

**都市科学部時間割表**は都市科学部の学部教育科目を中心に時間割を記載しています。

今年度に履修する授業科目は、**全学教育科目時間割表**とあわせて、自分の時間割を決めてください。

※ 時間割表には、配当年次が2年次以降の科目も今後の履修計画を立てる上での参考として掲載していますが、曜日・時限は今後変更される場合があります。来年度の時間割は、来年度版の時間割表であらためて確認してください。

## (6) 時間割の組み方

- ▶ 配当年次が「1年次」の必修科目を配置します
- ▶ 英語や初修外国語は学科ごとに開講時間帯が決まっているので、その時間帯に履修します。クラス分けについては別途掲示があります。
- ▶ 空いた時間帯に全学教育科目や学部教育科目の配当年次が1年生になっている科目を配置します。

# (7) 授業支援システムと 学務情報システム

授業支援システムでは、各授業のお知らせを受け取ったり、資料配布や課題提出等ができます。

## ● 授業支援システム

<https://lms.ynu.ac.jp/>

YNU 授業支援システム  
YNU Learning Management System

Language | E

ログイン

ユーザーID  
パスワード  
ログイン

Topics

- 2020/01/29 (水) 00:00 パスワードは厳重管理
- 2020/01/29 (水) 00:00 OSがWindows7以前及びWindows8でのログインは禁止
- 2018/07/23 (月) 00:00 コンピュータからアンインストールが必要なソフトウェア
- 2018/04/16 (月) 00:00 コンピュータにはウイルス対策ソフトを必ずインストールしてください。
- 2018/04/16 (月) 00:00 【重要なお知らせ】 授業支援アプリ・時間割管理アプリ等の利用について
- 2015/10/26 (月) 00:00 利用方法などは情報基盤センターのYNU授業支援システムのページをご覧ください。詳細なマニュアルや注意事項などを載せております。
- 2014/04/23 (水) 00:00 教員の方へ、授業支援システムを利用する際の注意事項
- 2014/04/23 (水) 00:00 授業支援システムにSSL-VPN経由で接続すると不具合を起こします。

Copyright

# (7) 授業支援システムと 学務情報システム

学務情報システムでは、履修登録・成績閲覧、シラバス検索を行うことができます。

## ●学務情報システム

[https://www.ynu.ac.jp/campus/student\\_only/affairs\\_system.html](https://www.ynu.ac.jp/campus/student_only/affairs_system.html)

ようこそ

横浜国立大学 学務情報システムへ

情報基盤センターの  
ユーザID・パスワードを  
入力してください。

ID

パスワード

ログイン





## (8) 授業支援システムで仮登録をする

- ▶ 期間：4月27日（月）～
- ▶ 授業支援システムにログインし、「講義一覧」の検索機能を利用して、履修を考えている科目の仮登録を行ってください。
- ▶ 今後、各授業の大事な伝達は主に授業支援システムで行われます（シラバス等に別途記載がある場合は、その指示に従ってください）。
- ▶ 履修を考えている科目は全て、**授業開始日の前日までに「仮登録」する**ようにしてください。
- ▶ 「仮登録」は初回授業日以降でも行うことができますが、履修者が多い場合は抽選等の受講調整を行うことがあります。この場合は初回授業に出席した学生が抽選の対象になります。

## (9) 学務情報システムで 履修登録をする

- ▶ 期間：5月7日（木）～ 5月20日（水）
- ▶ 学務情報システムにログインして、履修登録を行ってください。履修登録を行わない科目は成績がつかず、単位も取得できません。
- ▶ 例年、第1タームの科目は登録したのに、第2タームの科目を登録しないままで単位を取得できなかった学生がいます。履修登録期間終了後に時間割を印刷し、すべて記載されているか必ず確認してください。不足があった場合は訂正期間に登録を行ってください。
- ▶ くれぐれも授業支援システムの仮登録と混同しないよう、注意してください。

# (10) 全般的な留意事項

- ▶ 試験における不正行為（カンニング）、卒論・レポートの剽窃は懲戒（退学・停学・訓告）の対象となります。
- ▶ 20歳未満の飲酒・喫煙は、懲戒の対象となります。
- ▶ 都市科学部電子掲示板とYNUメール、学務情報システムは毎日確認してください。
- ▶ 教職員への連絡は必ずYNUメールアドレスを使用し、プライベートで使用するメールアドレス（フリーメールや他のプロバイダからのアドレス）からは送らないでください。

※YNUメール以外のドメインからメールをもらっても、YNUメールから再度送るよう返信するだけで、問い合わせ内容には回答できません。

# (10) 全般的な留意事項

- ▶ 大学のWifi（YNU-Wifi）が使用可能ですが、セキュリティ対策が未実施のまま学内のWifiに接続するとインシデントとなり、ウイルスチェックやアプリの削除依頼などの調査を行います。
- ▶ 何度もインシデントを起こすとアカウントが停止となるため、怪しいWEBページの閲覧や、不審なアプリケーションをダウンロードは行わないでください。
- ▶ 本学ではセキュリティ対策ソフトとして、ウィルスバスターを無償で提供しているため、大学への入構が可能になってから、必ずウィルスバスターをインストールしてください。常に最新状態を維持し、更に定期的な検索（フルスキャン）を実施してください。

# (11) その他

- ▶ 学生生活に関する情報は大学ウェブサイトに掲載されている「学生便覧」を確認してください。
- ▶ 障がい学生支援室では、障がいのある学生が、障がいのない学生と同様に授業を受けることができるよう、支援をしてくれるキャンパスサポーターを募集しています。具体的には、聴覚障がいの学生さんの横について、講義の内容を書き取るノートテイクや、パソコンでタイプするPCテイク、肢体不自由の学生さんの介助をしたりすることが、支援内容になります。詳細は「キャンパス・サポーター（障がい学生支援）の募集について」の資料を確認してください。

# (11) その他

- ▶ 特に注意していただきたいのは、通学時のマナーとゴミだしのマナーです。資料「最寄駅からの通学路について」、と「ごみと資源物の分け方・出し方」を必ず確認してください。
- ▶ 通学時のマナーについて近隣の方々から、しばしば「学生さん達の声が響く」、「横一杯に通りをふさいで歩いて邪魔」などの声が寄せられております。皆さんには、社会常識として、普段の生活においても、住宅街を通るときは静かに歩くなど、マナーを守って通学するようお願いいたします。
- ▶ この他にゴミ出しのマナーなどについてもよく読んで、周囲へ配慮する気持ちを持つようお願いいたします。一人の横浜国立大生の悪い振る舞いが、横浜国立大生全体のイメージを損ないます。皆さん一人一人は、地域を構成する倫理観ある一市民であることも忘れないでください。

# (12) 問い合わせ

- ▶ 不明な点があれば、都市科学部学務係へメールで問い合わせてください。
- ▶ 必ずYNUメールから問い合わせてください。
- ▶ メール本文に氏名、学籍番号を明記すること。

都市科学部学務係 [cus.jimu@ynu.ac.jp](mailto:cus.jimu@ynu.ac.jp)